

第3次地域福祉計画に係る具体的な取り組みの実施状況について

第3次地域福祉計画は、平成29年度から令和3年度までの5年間を計画期間としています。計画の推進にあたり、平成31（令和元）年度の実施状況をまとめました。

1 つながる・ほくと（助け合い・交流が活発なまち）

（1）身近な福祉・知る福祉・見える福祉

項目	内容	H31（R1）実施状況	課別
①小中学校におけるボランティア活動・福祉教育の推進	○子供の頃から福祉への関心を高め、地域福祉について学ぶ機会を設けます。 ○社会福祉協議会が行うボランティア活動推進校への取り組みを支援します。 ○教育委員会と連携して福祉教育を全行的に推進します。	・市社会福祉協議会が中心となり、市内小中学校の担当教諭と一緒に企画立案し、福祉教育の推進を行いました。 （高齢者疑似体験、地域高齢者との交流、障がい者理解、施設や高齢者宅の環境美化活動等） 市内小学校8校、中学校8校、高校1校	福祉課
②講演会の開催による住みやすい地域づくりの情報提供	○講演会の開催により、地域福祉や地域活性化に関する啓発を実施します。 ○様々な分野の講演会を開催し、市民に地域づくりに関する情報を提供します。 ○講演内容や講師選定、日程などを工夫し、参加しやすい講演会にします。	・北社市健康福祉大会において講演会を開催し、食を通して健康に関する啓発を行いました。 ○令和元年10月19日（土）テーマ：「目指せ 健康寿命日本一！～おいしく食べて健康に～」 講師：小山 浩子氏 参加人数：300名	福祉課
		・市民の皆様へ、高齢化の進展に伴い介護予防の自主的な行動ができるまちづくりを目標に、介護予防へ対する知識、理解を深めるため、予防に取り組む動機付けになるよう「介護予防講演会」を開催しました。 ○令和元年11月23日（土） テーマ：「人生100歳時代到来～地域ぐるみでフレイル予防 つながりが健康をつくる～」 講師：神谷哲朗氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員） 参加人数：127人	介護支援課
		・北社市食生活改善推進員を対象にゲートキーパー養成研修会を開催しました。 講師：心理臨床オフィス ルーエ 深沢孝之様 参加者数：253名	健康増進課
		・市政報告会に併せて市民を対象とした講演会を年3回実施しました。 ○令和元年4月23日（火） テーマ：「北社市シナリオコンクールグランプリ作品」上映会及びトークセッション 講師：松永良平氏（監督）、藤原秀夫（撮影）、長田千鶴子（編集）、河合美和子（キャスト） 参加人数：253名 ○令和元年7月23日（火） テーマ：「昭和34年災害の記憶をたどって」 講師：末木基治氏（武川在住経験者） 参加人数：190名 ○令和元年10月28日（月） テーマ：「ほくとのお宝発見！郷土の歴史・民俗プロジェクト」 講師：森 早稲田大学公共経営大学院 学生 参加人数：157名	地域課

③生涯学習講座等を通じた地域福祉の啓発	<p>○健康や介護など福祉関係の口座を開催し、意識の啓発を図ります。</p> <p>○地域活動のきっかけや、高齢者が自らの体力を確認できる機会にします。</p> <p>○市民ニーズの把握や関係団体の協力により、市民が望む講座を開催します。</p>	<p>社会教育講座として、健康増進課の健康づくり市民公開講座である「ミニヘルスアップ講座」と「理想のカラダをつくる極～健康でキレイ&カッコいいカラダへ～」を共催により開催しました。</p> <p>・年間を通じて、健康講座をシリーズで開催（5回開催：参加者合計321人）し、市民が自身の健康の様子を考えながら、必要のある講座に参加し、生活改善に取り組めるような機会としました。</p> <p>・地域で積極的に健康についての話題を取り上げてもらえるよう、地区での行事などに要望がある場合は、保健師、栄養士を派遣して市民が希望する内容の講話（出前講座）（16回）を行いました。</p>	生涯学習課
④地域福祉に関する情報の周知	<p>○地域福祉に関する活動や募集、サービス等の各種情報について、広報・ホームページ・CATV・区長文書等で幅広く周知を図ります。</p> <p>○福祉情報を一元的に整理し、適切かつ円滑に取得できるよう方法を検討します。</p>	<p>・広報や市ホームページを活用し、福祉課の業務や地域福祉に関わる情報の周知を行いました。</p> <p>・健康福祉大会や北杜市で開催された高齢者作品展については、市HPやCATVで周知を行いました。</p> <p>・子育てに関する情報について、広報ホームページ等で周知を図りました。</p> <p>・子育て世代包括支援センターが開設し3年目となり、母子保健と子育て支援が一体的に、妊娠準備期から子育て期にわたりワンストップでサポートする体制になりました。また、H30,4月より母子健康手帳交付は保健センターの窓口1本化としました。これらの内容を、広報・CATV・ホームページなどで周知しました。</p> <p>・介護予防に役立つ情報を集約し、市民に情報発信するためのWEBサイト「ほくと元気100歳ネット」を開設して、介護予防事業の周知を行いました。令和元年度は、認知症キャラバン・メイトとリハビリ専門職の協力により動画の作成、更新も行い、介護予防に役立つ情報を発信しました。</p> <p>・月平均で見てもアクセス数は増加しており、今後もWEBサイトを活用してもらえるようサイトの充実を図るとともにPRの強化に努めていきます。</p> <p>・健康情報や事業などについては、広報、CATV、ホームページ、回覧、ポスター（スパー、銀行等にも依頼）を利用して広く周知しました。</p> <p>・熱中症予防対策等については、必要性の高い方にも伝わるよう防災無線での周知も併せて行いました。</p>	福祉課 子育て応援課 ほくとっこ元気課 介護支援課 健康増進課
⑤子育て支援情報の提供	<p>○子育て応援サイト「やまねと」の運営を通じ、情報を一元的に提供します。</p> <p>○母親の目線による意見を反映させ、情報の充実を図ります。</p> <p>○母親同士のネットワーク活用など多様な手段で情報を提供します。</p>	<p>・子育て情報サイト「やまねと」において、子育てに関するさまざまな情報を一元的に提供したほか、母親目線による意見を反映させるため、ママ記者ブログによる情報発信を行いました。</p> <p>・子育て情報サイト「やまねと」において、母子保健・子育て支援事業の情報提供をするとともに、利用者支援専門員により、北杜市子育てガイドブックを活用し母親へ情報提供しました。</p> <p>・母親目線のママ記者により母子保健や子育てに関する情報収集したことを「やまねと」のサイトに随時アップしました。</p>	子育て応援課 ほくとっこ元気課
⑥民生委員・児童委員による地域福祉情報の周知と活用	<p>○民生委員・児童委員の定例会において、地域福祉に関する研修を実施します。</p> <p>○地域の身近な相談役である民生委員・児童委員が地域福祉に関する情報を周知することで、地域に即した福祉情報の提供を推進します。</p>	<p>・あんきじゃんねっとわーく事業、緊急通報体制整備事業（ふれあいペンダント）について民生委員へ周知を行いました。</p> <p>・初めて民生委員児童委員をされる方へ、全体研修会を開催し、これから民生児童委員の活動を始めるにあたっての心構えや考え方を学びました。</p>	福祉課

(2) 声かけ・助け合いの促進

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
①地域の見守り体制の構築と助け合いの促進	<p>○地域から孤立する恐れのある人を地域全体で見守る体制を構築します。</p> <p>○放課後の子どもたちの見守りと安全な居場所づくりに取り組みます。</p> <p>○地域の身近な見守りや助け合いが大切であることを啓発していきます。</p> <p>○あんきじゃんネットワーク事業を推進していきます。</p>	<p>・あんきじゃんネットワーク事業設立に関わった、地区民生児童委員役員、警察・消防署、庁内の各部署、また現在あんきじゃんネットワークに協力頂いている事業者で集まり、関係者連絡会議を開催し、情報交換会を行いました。</p>	福祉課
		<p>・高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるように、地域の医療や介護、福祉関係者等とケア会議等で協議し、地域の見守り体制を構築する中で、助け合いの大切さについて啓発しました。</p>	介護支援課
		<p>・子供たちの放課後の安全安心な居場所として、放課後児童クラブ、児童館の運営を行いました。</p>	子育て応援課
		<p>・市内につどいの広場を4か所開所し、保健センター内に設置された「はっぴいたんたん」を土曜日も開設しました。</p>	ほくとっこ元気課
②緊急通報システム「ふれあいペンダント」の推進	<p>○高齢者の家庭でも容易に緊急時の通報ができるシステムの配備を推進します。</p> <p>○NPO法人と連携して、24時間365日の通報・相談に応じます。</p> <p>○利用対象者の拡大や利用要件の緩和等を検討します。</p>	<p>・平成25年度から通報先をNPO法人に切り替えを行ったことにより、引き続き24時間365日の通報、相談が可能になりました。</p> <p>・ふれあいペンダントの未使用保管台数を考慮しながら、可能な限り事業対象者が増えるよう、包括支援センター職員へ情報提供を行いました。</p>	福祉課
③ゴミステーションの適切な管理	<p>○地域のごみステーション管理活動を通じて、地域の繋がりや交流機会を創造します。</p> <p>○分別マニュアル・排出カレンダーの配布により適切なごみ出しを推進します。</p>	<p>・ごみステーションは、地域で適正に管理を行いました。</p> <p>・分別マニュアル・ごみ排出カレンダーの配布により、適正なごみの排出を行いました。</p>	環境課

(3) 集まる・交流するコミュニティづくり

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
①転入者への行政区加入に関する情報	○転入者が転入手続きで来庁した際に、地区や区長などの紹介を行います。 ○「行政区への加入の案内」や「ふくし相談ガイド」を配布します。 ○行政区の役割や自治会活動保険の説明を実施し、加入を促進します。	・本庁及び支所の担当窓口において、「行政区への加入の御案内」を転入者に渡し、行政区加入について説明を行いました。	市民課
		・地域活動や交流事業に積極的に参加できるよう、自治会活動保険に加入し、安心して行政区活動に参加できる環境づくりを実施しました。	地域課
		・福祉課窓口に来られた方へ「福祉相談ガイド」やタウンページに掲載される「北杜市暮らしの便利帳」を紹介しました。	福祉課
		・本庁及び支所の担当窓口において「行政区への加入」を案内し、地区のルールに沿ったごみの排出を促すとともに、ごみカレンダー及び分別マニュアルを配布し適正なごみの排出及び資源物の回収に繋がるよう促しました。	環境課
②行政区加入率向上に向けた取り組み支援	○行政区や自治会の現状について、各地域の動向を把握します。 ○行政区の加入を促進するための取組について、支援方法等を検討します。	・移住希望者等に、行政区、自治会等の情報を提供する移住相談窓口を設置しました。また、行政区加入の重要性など説明しました。	地域課
③多世代が交流する機会の促進	○地域の多様な主体が連携し、交流機会の場を確保します。 ○親子で開催できるスポーツや文化行事を開催します。 ○地域のお年寄り子どもとの交流ができる催しなどを開催します。	・子供から高齢者までが参加した第8回名峰と名水の里北杜囲碁まつりほか、北杜再発見講座等の多世代が参加できる講座を開催しました。また、北の杜ふるさとウォーキング、3世代交流で行う体力測定会や親子スケート教室など親子や世代間の交流を目的としたスポーツ事業を開催しました。	生涯学習課
		・地域の方々に参加いただきながら、放課後子供教室を実施し、地域住民との交流活動に積極的に取り組みました。 ・保育施設では、世代間交流として地域の高齢者を招いて、伝承遊び、季節の行事等を実施しました。	子育て応援課
		・つどいの広場を中心に親子でできる行事を組み入れ開催しました。令和元年10月には子育てフェスタを開催し、愛育班員などとの交流やつどいの広場で利用者と高齢者が集う「三世代交流事業」を開催し交流を図りました。	ほくとっこ元気課
④「集いの場」の普及促進	○多様な運営主体による、地域の「集いの場」を普及促進します。 ○住民主体の高齢者集いの場事業の立ち上げを支援します。	・各地区の高齢者が集いながら社会参加と高齢者福祉向上のため、集える場所の提供など高齢者の活動に対し支援しました。	福祉課
		・高齢者通いの場の立ち上げや運営を継続する住民ボランティア団体に対して、毎月の開催回数に応じた運営費の支援を行うとともに、リハビリ専門職等を派遣し、介護予防への取組みについての養成指導を実施しました。 ○高齢者通いの場：43箇所 ○リハビリ専門職の派遣：14回 ・市内で高齢者通いの場等を運営するボランティアが一堂に会して活動報告、情報交換、先進地事例の紹介などを行う交流会を開催し、活動意欲の向上や仲間づくりを支援しました。 ○令和元年10月18日(金)「ケラケラと笑い転げる“笑談会”」 講 師：総合プロデューサー高木寛之氏(山梨県立大学)大学高齢社会総合研究機構特任研究員 参加者：66人(36団体)	介護支援課

2 かつやく・ほくと（健康で元気に活躍できるなまち）

(1) 健康・生きがい・活躍の場づくり

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
①健康づくりの啓発・取組支援	○市民・地域・行政が連携して地域の健康作りを推進します。 ○健康づくりや規則正しい生活習慣についての普及啓発を図ります。 ○地域による健康づくりや介護予防事業の取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会において、健康づくり事業の評価を実施し、当年の事業計画に市民の声として内容を反映し、市民、地域、行政が一体となって取り組むことができるようにしています。 すこやかな生活習慣を定着させ、健康寿命の延伸を図るため、健康強調月間・週間には、CATVのテロップ、ポスター掲示を行い、健康づくり全般の普及啓発を行ないました。 健康増進普及月間に併せて、市民の健康意識の向上を図れるよう、また、9月を「いいことチャレンジ健幸ほくと」事業として市全体で健康づくりへの取り組みができるように、保健福祉推進員と連携を図りながら普及啓発を行ないました。（いいことチャレンジ健幸ほくと取り組み報告者数：2,516人） 	健康増進課
		<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉推進員が介護予防のために各地域の公民館等において開催する「はつらつシルバーつどい事業」に、運動や栄養、口腔や認知症予防等の専門職を派遣し、地域による健康づくりや介護予防の取組を支援しました。 ○はつらつシルバーつどい事業：実施回数183回・参加者数3,796人 	介護支援課
②介護予防サポートリーダーの養成と活動支援	○地域の高齢者同士がお互いを支えることで、介護予防の取組を推進します。 ○介護予防サポートリーダーの養成講座を定期的に開催します。 ○多くの登録者が参加できるように活動支援やフォロー研修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の必要性を理解し、地域での介護予防事業の普及や実践を促すため、定期的に養成講座を開催し、新たに19名が登録となり、各地域での公民館カフェなどにおいて、介護予防活動を実践しました。 スキルアップや介護予防をより意識した活動ができるよう、情報交換を兼ねた研修会を月1回定期的に開催し、介護予防活動への支援を行いました。 ○介護予防サポートリーダー登録者数：119人 	介護支援課
③保健福祉推進員の養成と活動支援	○地域の保健福祉事業の普及と実践に努める保健福祉推進員を要請します。 ○推進員の役割や地域づくりの意識を高めるため、研修会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉推進員の研修会を開催し、市内における高齢化率等の統計データをもとに介護予防の重要性について説明を行い、関係資料等を配布した中で地域での支え合い活動に取り組めるよう支援を行いました。 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉推進員を市内340名に委嘱し、研修会を3回（それぞれ4会場ずつ）行ないました。保健福祉推進員が地域住民の健康の担い手としての意識を深め、地域で活動しやすいように「保健福祉推進員ガイドブック」を作成し配布しました。（研修会延べ参加者数：720人） 	健康増進課
④食生活改善推進員の養成と活動支援	○食を通じた健康づくりの担い手となる食生活改善推進員を要請します。 ○食生活改善推進員による障害を通じた食育と健康づくりを推進します。 ○食生活改善推進員の活動や地域との連携の支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じた健康づくりの担い手として次の活動を行い、普及啓発をしました。 ○家庭訪問による減塩、生活習慣病予防普及啓発活動（市内1087世帯訪問） ○保育園おやこ食育教室（17回実施：子ども202人・保護者201） ○地域での普及啓発活動のための代表者研修会（4回実施：地区代表者67人） ○日本食生活改善推進員協議会事業 「世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業」 若者世代・高校生（県立北杜高校生生徒への講義と調理実習：131人） 働き世代（小淵沢地区：30人） 高齢世代（大泉地区：14名） 「おやこ食育教室」（高根地区2回実施：82人） 「生涯骨太クッキング」（武川地区：35人） ・食生活改善推進員の養成を行いました。（修了者：39人） 	健康増進課
⑤母子愛育会の活動支援	○子どもたちの健やかな成長のため、母子を中心に地域ぐるみの健康づくりを推進する。 ○母子愛育会の活動が市内全域で行われるように推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 母子愛育会の各班の分班長会議や各種事業に地区担当保健師が出席し、母子の健康課題を中心に情報提供を行い、地域の健康づくりについて共に考え課題解決に取り組みました。 ・母子愛育活動が市内全域で行われるように休会地域の現状を把握し、組織立ち上げに向けた代表者会議・区長会へ説明を行いました。 	ほくとっこ元気課

<p>⑥認知症サポーターの養成と活動支援</p>	<p>○地域で認知症の人を支えるため、認知症サポーター養成講座を開催します。 ○サポーター同士の交流や登録者の活動支援を実施します。 ○認知症の人と関わる人が多い民間団体などの参加を重点的に働きかけます。</p>	<p>・地域や職域において認知症の人と家族を支えるため、市内小中学校、金融機関や民生委員、介護予防サポーターリーダー、行政機関などに参加を呼びかけ、養成講座を開催しました。 ○認知症サポーター養成講座：受講者数539人・累計7,167人 ・認知症サポーター養成講座を開催するキャラバン・メイトに対しては、研修会や先進地視察を行い、他市との交流を深めることで、モチベーションが高まり積極的な活動を行うことができました。</p>	<p>介護支援課</p>
--------------------------	--	--	--------------

(2) ボランティア活動の活性化

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
<p>①ボランティアの養成</p>	<p>○各種ボランティア養成事業を実施します。 ○社会福祉協議会で実施しているボランティア養成事業を支援します。 ○ボランティアの集いなどを開催し、ボランティア活動の活性化を支援します。</p>	<p>・社会福祉協議会で行っているボランティア活動に対し、市で支援を行いました。 ○ボランティア養成講座 5回、手話養成講座 40回 開催 参加者 482名 (ボランティアリーダー研修、傾聴ボランティア養成、災害ボランティア養成、災害ボランティアセンター設置運営研修等) ○ボランティアの集いの開催 参加者 147名</p>	<p>福祉課</p>
<p>②介護支援ボランティアの推進</p>	<p>○高齢者の社会参加により、介護予防と活力ある地域づくりを図ります。 ○介護支援ボランティアを養成し、高齢者のボランティア活動を推進します。 ○より利用しやすい制度にするため、周知強化や制度改定に取り組みます。</p>	<p>・高齢者の社会参加を通じた介護予防を推進するため、高齢者が介護施設等においてボランティア活動を行った場合には、活動実績を評価しポイントを寄与しています。 ・登録者のフォローアップ研修をより充実させるため、受け入れ施設とボランティアの双方による対話形式でのセミナー「ボランティアがいきいきと力を発揮するために～あなたにとって生きがいとは?～」を開催し、活動における課題の確認やボランティアの質の向上に取り組み、ボランティア活動と生きがいについて見つめなおすことができました。 ・ポスターやチラシ、情報誌「つながる笑顔」を作成し、制度の周知に努めました。</p>	<p>介護支援課</p>
<p>③ボランティアが活躍できる機会の創出</p>	<p>○各種ボランティア制度の周知を図ります。 ○ボランティアと地域活動団体の円滑なマッチングを支援します。 ○市民の知識や技術を同世代や同世代間の交流に生かせる人材登録制度(公営アカデミー)を運営します。</p>	<p>・市役所内へボランティアボードを設置し、利用者へ周知を行いました。また、ボランティアボードへ県内のボランティア情報が集まるサイトの掲載を行いました。 ・市民が生涯学習の場で活用できる「生活」、「芸術・文化・創作」、「学習一般」、「健康・福祉」、「スポーツ・レクリエーション」等の各分野の指導者に、まなびの杜タレントバンクへ登録してもらい、その情報を冊子にまとめ、市内公共施設に設置しました。また、登録者情報をホームページで紹介し、ニーズのある市民に指導者を紹介しました。 ・放課後子供教室の運営を行うためには、地域住民の指導者としての参加が不可欠であることから、地域毎のスタッフの充実を図りました。 ・放課後子供教室開催にあたり、公営アカデミー学習応援人材バンクを活用し指導者の派遣を受けました。</p>	<p>福祉課 生涯学習課 子育て応援課</p>
<p>④地域活動団体の支援</p>	<p>○社会福祉協議会と連携し、ボランティアと各団体のマッチングを促進します。 ○得意分野や技能を持つ個人の社会活動を推進するため、高齢者の人材バンク登録を進めます。 ○市民がボランティア活動へ参加しやすい環境を整えるため、活動内容の情報発信に取り組みます。</p>	<p>・社会福祉協議会へ登録した個人や団体のボランティアスタッフに、福祉講話等の依頼を受け講師派遣の調整を行いました。 ・得意分野を持つ高齢者の人材バンク(寿マスター)について、市社会福祉協議会と協力し情報周知を行いました。</p>	<p>福祉課</p>

⑤地域活動の場や拠点の提供	<p>○ボランティアセンターの周知や活動促進を支援します。</p> <p>○地域活動やボランティア同士の交流が行える場を設けます。</p> <p>○社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動の周知を図ります。</p>	<p>・市内のボランティア団体と社会福祉協議会が協働し、ボランティアの集いを開催しました。</p> <p>開催日 平成30年12月1日(土)</p> <p>参加人数 174名</p>	福祉課
⑥福祉団体活動の周知支援	<p>○地域で行われている福祉活動について、情報周知を支援します。</p> <p>○福祉団体の希望に応じて、広報等への記載により情報提供を支援します。</p> <p>○社会福祉協議会と連携し、福祉団体やボランティア団体の活動を周知します。</p>	<p>・ボランティアボードを活用し、情報提供を行いました。</p>	福祉課
⑦福祉の取組をつなぐネットワークづくり	<p>○地域課題の解決や福祉サービス調整のため、団体間で情報共有を図ります。</p> <p>○各種団体や関係機関で連絡会を開催し、ネットワークづくりを推進します。</p> <p>○福祉団体の協働による支援体制を構築します。</p>	<p>・2ヶ月に一度、峡北地域自立支援協議会連絡会を実施し、事例検討会や制度学習会等を行い、関係機関や事業所でお互いに情報共有などをしました。</p>	福祉課
		<p>・個別事例の検討や地域での話し合いを通じて、地域課題の明確化と地域のネットワークの構築をつなげ、包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施を図るため、個別地域ケア会議や地域ケア推進会議を開催しました。</p> <p>・小地域ケア会議については、生活支援体制整備事業(第2層協議体)の開始に伴い連携した事業展開とするため今年度は開催を見合わせました。今後の生活支援体制整備事業に活かせるよう、すでに開催が終了している地域の振り返りを行い、地区診断等について検討しました。</p>	介護支援課
		<p>・保育施設等において、気になる子供を確認した場合、より適切に対応するため、関係機関と情報を共有し支援の内容について協議を行いました。</p>	子育て応援課

3 あんしん・ほくと（誰もが安心して生活できるまち）

(1) 地域住民による防災・防犯対策の充実

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
①自主防災組織の結成促進	○災害の予防と軽減のため、各地域における自主防災組織の結成を支援します。 ○防災意識の高揚を目的とした「出前講座」を開催します。 ○住民主体の防災対策を意欲的に推進できる人材の育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の区長会議において、自主防災組織の結成を促すと共に、資機材等を整備するに当たり補助金があることを説明しました。 出前講座については、16件の要望があり開催を行いました。 減災リーダー育成については6回開催し、240名が受講しました。 	地域課
②避難行動要支援者の登録促進	○地域の避難行動要支援者の登録を促進します。 ○地域の会合や民生委員等を通じて、制度の周知や登録の促進等を実施します。 ○平常時から声かけが行われるよう、地域の協力を求めています。	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初、各町の区長会や民生児童委員会において、事業内容の説明、名簿の更新、登録の推進、災害時に備えた名簿の活用呼びかけを実施しました。 	地域課
		<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員を通じ、避難行動要支援者の登録の促進を行いました。 	福祉課
③子育て世帯の防災体制の強化	○防災訓練や防災イベントを通じて、乳幼児、子ども、子育て世帯向けの災害対策の必要性や世帯に応じた備えの大切さを啓発します。 ○子育て世代の自主的な防災活動の取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月27日（日）の山梨県地震防災訓練において、「防災ママ@北杜」の方々との協働により、子どもたちを対象とした備蓄食料品の展示、試食、パーソナルカードの作成など、災害に対する対応等の啓発活動を計画していましたが、台風19号の影響により訓練は中止となりました。しかし、「防災ママ@北杜」と備蓄食の試食を行い、災害時の子育て世帯に必要な備蓄食料のリストアップを行いました。 	地域課
		<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室の運営を行うためには、地域住民の指導者としての参加が不可欠であることから、地域毎のスタッフの充実を図りました。 放課後子供教室開催にあたり、公営アカデミー学習応援人材バンクを活用し指導者の派遣を受けました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> 保健師による新生児訪問や乳幼児健診時に防災用品等の紹介をしました。また保健センター内に防災用品の展示を常設し周知しました。 	ほくとっこ元気課
④防犯対策事業の推進	○犯罪の未然防止を図るため、地域に防犯灯の配布を実施します。 ○地域ぐるみで安全を守る「子ども110番の家」の普及促進に努めます。 ○防犯団体連絡協議会の活動を促進するため、定期的に会議を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪等を未然に防止するため、防犯灯を購入し地域からの要望により支給をしました。 名称を「自主防犯団体連合会」としています。令和元年度は開催しませんでした。 	地域課

(2) 生活の不安を軽減する支援の充実

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
① 移動販売等の買い物支援の促進	<p>○移動手段が乏しく、日常の買い物が不便な人の動向を把握します。</p> <p>○買い物支援として、移動販売や宅配等の情報提供を行います。</p> <p>○移動販売や宅配等に取り組む事業への支援策を検討します。</p>	<p>・市内で巡回している移動販売業者及び宅配事業者の情報を取りまとめ、情報提供を行いました。</p>	<p>商工・食農課</p>
② 交通弱者に対する移動支援の促進	<p>○高齢者をはじめとした交通弱者に対する移動支援サービスを促進します。</p> <p>○高齢者や家族の人に、福祉有償運送等を実施している事業所を紹介します。</p> <p>○公共交通の利用が困難な高齢者や障がい者にタクシー券の給付を実施します。</p>	<p>・高齢者生活支援事業(外出支援サービス)により、通院のためのタクシー券を月2枚給付し、通院の際の初乗り料金を助成しました。平成31年(令和元年度)度は、新たに6名が登録されました。</p> <p>・人口減少、少子高齢化による担い手不足の中、要支援認定者等の自立支援に資する外出支援を地域の支え合い活動により解消するため、高齢者の外出支援サービスモデル事業を実施し、今後の方向性や可能性について検証を行っています。</p> <p>・現在、市内ボランティア4団体に委託し運営を行っているが、ボランティア不足や予約オペレーターの負担が大きいなど課題も多いため、次年度以降は、市民バスとの連携を図った中で新たな移動支援サービスとして検証を行い、サービスの促進につなげていきます。</p>	<p>福祉課</p> <p>介護支援課</p>
③ 公共交通の整備	<p>○既存の公共交通を有効的に活用し、効率的な運行体系を確立します。</p> <p>○利用者の利便性や交通弱者等に配慮したバス運行に取り組みます。</p> <p>○地域内の公共交通事業者と連携する中で、新たな公共交通を検討します。</p>	<p>・「北杜市地域公共交通網形成計画」(H30.3策定)に基づき、幹線(エリア間をつなぐ移動)と支線(エリア内の移動)をうまく組み合わせた効率的な地域公共交通体系を構築するため、4つのエリア地域公共交通運営委員会による協議を実施しました。協議を踏まえ、令和2年4月から運行する新たな市民バスの内容を固め、説明会等による周知を行いました。</p> <p>・エリア地域公共交通運営委員会での意見集約と併せて、地域を絞ったモビリティマネジメントアンケートを通じたニーズの把握と利用促進に向けてのデータ蓄積ができました。</p>	<p>企画課</p>

(3) 相談体制・福祉士サービスの充実

項目	内容	H31 (R1) 実施状況	課別
①住民主体の生活支援サービスの創出・実施	○福祉や介護などに関する諸団体と連携し、生活支援サービスの向上に努めます。 ○住民主体の買い物、見守り等の生活支援サービスを支援します。 ○社会保障制度等の給付に結びつかない方の支援に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域の各団体が主体となり、一人暮らし高齢者へ見守りも兼ねお楽しみ給食サービス事業の調理、配達を連携して行いました。 ・ふれあいペンダント(高齢者の見守りサービス)利用者として、新たに7名の登録を行いました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善を目的とした配食や、住民ボランティア等が行う見守り等の自立支援に資するサービスの構築、支援ができるよう取り組んでいきます。 	介護支援課
②相談窓口の案内・周知	○市や関係機関の窓口、福祉関連サービスの情報を整理し、分かりやすく提供します。 ○福祉情報をケース別に整理した「ふくし相談ガイド」を窓口で配布します。 ○広報・ホームページ等で福祉の相談窓口に関する情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課窓口にて、各種福祉関係情報のチラシ設置、ポスター掲示を積極的に行いました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、本人、家族、地域住民からの相談に対し状況把握を行い、関係者のネットワークを構築し、問題解決に必要なサービスや適切な保険、医療、福祉サービス機関への制度利用につなげられるよう、区長会や民生委員会、保健福祉推進員研修会等において、「地域包括支援センター」相談業務の周知を行いました。 ・今までより市民にとって身近な相談窓口になるよう、次年度より包括支援センターの体制を強化し、市内中心地へ移転した中で、「市民の相談窓口」として包括的に支援していきます。 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ほくとハッピーワークを常設し、市とハローワーク荏崎が一体となって子育て世代やひとり親の就労支援や職業相談を実施しました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ほくとっこ元気課内に子育て世代包括支援センターとしての機能を充実し3年が経ち、妊娠準備期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行いました。 ・内容を周知するためにちらしの作成を行い、各種団体に周知しました。また、広報・ホームページ・CATVでも周知するとともに、訪問時などにも案内をしました。 	ほくとっこ元気課
③民生員・児童委員等と連携した相談しやすい体制作りの推進	○民生委員・児童委員や母子相談員等と協働し、地域の相談体制を整備します。 ○社会福祉協議会と連携し、「福祉総合相談窓口」を運営します。 ○山梨県弁護士会と連携し、法律相談を開催します。 ○職員のスキルアップや関係機関との連携体制の構築を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員に、市の制度や県民児協から送られてくる最新の福祉情報などを伝え、普段関わる案件を的確に福祉行政や担当機関へつなげられる体制づくりを行いました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターの地区担当職員が民生委員会の定例会に参加し、相談や情報共有を行いました。 ・地区個別のケースに関しては、他機関と連携し、個別ケア会議などで相談体制を構築しています。 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や児童委員の代表者の方に委員になっていただいている、「子ども・子育て会議」において、市の子育て施策について年数回協議いただきました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行われています民生委員・児童委員会の定例会に出席し、子育て世代包括支援センターの周知と連携について案内をしました。 	ほくとっこ元気課
④包括的な子育て支援の実施	○妊娠準備期から子育て期に渡って、相談支援や母子保健、子育て支援を包括的にワンストップで提供する「北杜市版ネウボラ」を推進します。 ○地域全体で子育てを支援していく体制づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に参加いただきながら、放課後子供教室を実施し、地域住民との交流活動に積極的に取り組みました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠準備期から子育て期に渡って、相談支援や母子保健、子育て支援を包括的にワンストップで提供するため専門職、関係機関、地域組織との連携を図り子育て支援への体制づくりに取り組みました。 	ほくとっこ元気課

⑤各種福祉サービスの提供	○公助として行う各種福祉サービス（児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険事業など）について、それぞれの計画に基づき適切に提供します。 ○庁内及び関係機関で連携を図り、総合的な支援サービスを提供します。	・かざぐるま福祉課で相談を受けた事案について、就労支援や日中活動先などの福祉サービスに繋がりました。	福祉課
		・高齢者、障がい者、児童等の多様なニーズに対応し、個々のニーズに最も見合う適切なサービスを提供するため、「サービス調整会議」を庁内で月1回定例で開催し、担当課の情報共有とサービスの調整を図っています。	介護支援課
		・「北杜市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を実施しました。 ・「第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、子ども・子育て会議において審議いただきました。	子育て応援課
⑥介護者支援の充実	○介護する人への相談対応や適切な助言を行い、介護負担の軽減を図ります。 ○寝たきり・認知症高齢者を介護する人の交流を実施します。 ○介護をしている家族等へ介護用品を支給します。	・介護する人からの相談を受け付け、関係課へ適切に繋がりました。 ・介護する人の負担を少しでも和らげるため、高齢者生活支援事業の案内を行いました。	福祉課
		・在宅の要介護高齢者を介護する家族の負担軽減を図るため、介護度に応じた対象区分の拡大、介護負担に応じた支給限度額の拡大、使用者のニーズに適した介護用品を提供しています。 ○支給実人数：184人（市内に住所を有し介護用品を使用している市民税非課税の要介護4.5の方と排尿排便が「全介助」「一部介助」の方が対象）	介護支援課
⑦成年後見制度の利用促進	○権利擁護センターとの協働による普及啓発や制度利用の促進を実施します。 ○成年後見制度の費用負担が困難な人に対して助成を実施します。 ○市民後見人養成講座を開催し、地域で支える仕組みを構築します。	・成年後見制度利用を促進するため、研修会等に参加しました。さらに、市内部での打合せを数回行い、円滑な事務実施が行えるよう協議を重ねました。	福祉課
		・低所得者の高齢化に対して、成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成が活用できるよう、制度の正しい理解と普及促進のため、パンフレット等の資料を民生委員会や健康福祉大会等で配布しました。	介護支援課